

大学全入時代が目前に迫るなか、私立大学の経営危機が現実のものとなり、法人化された国立大学の急速な改革の進行とともに私立大学に新たな脅威を与えようとしています。このような状況のもと、本学は建学精神に基づき、個性と特色を明確にした教学体制を順次整備して、多様化する社会の期待に応えてきました。

2006年度は、個性的な教育プログラムの展開や学術情報利用環境の整備、国際戦略体制の具体化に取り組むとともに、競争的外部資金の獲得を促すための支援を行います。同志社小学校については、開設後の運営が円滑に進むよう人的および財政的措置を講じます。また、将来構想という形で示された両校地の総合的整備を遅滞なく実現していくために、財政基盤の強化に努めます。

2006年度予算は、帰属収入の安定的確保を図りながら、これらの優先的課題に配慮し、一方で経常経費の見直しを推し進めて、限られた財源を効率的に配分することを大原則に編成しています。

収入の部

学生生徒等納付金は、前年度開設学部・大学院の学年進行により、前年度に対して8千万円増の257億6千万円となる見込みです。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため(主な増減理由は表1に注記)、帰属収入合計は329億3千万円となり、前年度予算に対して4億1千万円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は大規模な建設工事や研究装置等の取得資金に充当するもので、2006年度は研究装置の取得資金に3千万円を充当します。

当期固定資産除却額12億6千万円は、固定資産(機器備品)の償却期間完了によるものです。

特定支出準備金取崩額の内訳は、過年度に受入れたオムロン株式会社からの寄付金(オムロン基金プロジェクト宛)8千万円等です。

収入の部合計は343億1千万円となり、前年度予算に対して12億8千万円の減少となる見込みです。

支出の部

人件費は、教員充実計画に基づく実質増員分の経費、定期昇給の必要額等を見込んでおり、前年度に対して3億4千万円増の169億6千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費(減価償却額を除く)、管理経費(同左)、施設関係支出、設備関係支出および予備費に仕訳されていますが、全体では対前年度34億4千万円減の総額125億6千万円を計上しています(事業別予算額は表2参照)。経常的経費については前年度予算を基準として計上し、管理経費については一部の重点項目を除いて極力節減を図ります。建設事業としては、クラーク記念館保存修理(今出川)、防災校地管理システム更新(新町)、デイヴィス記念館湿潤対策空調工事、硬式野球場夜間照明設置、サッカー場クラブハウスの建設(京田辺)、および学研都市キャンパス整備などの事業を行います。徴収不能引当金繰入額5千万円は、学費および学

資貸付金の回収不能額に対する引当金に繰り入れる額です。繰入金には、大学から小学校への資金調達額6千万円を計上しています。

第2号基本金組入額の内訳は、教学施設整備資金12億円、情報基盤整備資金3億円であり、いずれも理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は349億5千万円となり、前年度予算に対して34億9千万円の減少となります。

収支差額の部

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度消費収支差額は、6億4千万円の消費支出超過となります。消費支出準備金を取崩すことにより、最終的には8億6千万円の消費収入超過となる見込みです。

(本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています)

主な新規事業

(単位:千円)

教育研究条件の整備充実	
外国語能力テスト等の実施	17,480
プロジェクト科目の実施	8,780
オープンコースコンテンツの作成(教材の電子化)	3,000
司法研究科の教育支援 (アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)	42,800
京田辺校地博物館実習開講準備	3,670
旧分類資料、中野講庫の整理	12,450
図式作成ソフトウェア等の導入	3,430
図書館講習会、ソフト利用講習会の実施	1,820
高大連携教育事業の実施	3,550
外国人学生対象サマーセッションの開催	3,600
第3期南山城総合学術調査の実施	1,390
競争的補助金獲得の支援	35,000
国際戦略体制の強化	20,000

教育研究環境の整備	
情報環境各システムのリプレース	388,020
マルチメディアラウンジ等の整備	18,080
教室および貸出用マルチメディア、AV機器の更新	76,040
図書館施設設備の整備	10,440
教室マイク設備管理システムの改修	96,690
教室音響設備の更新	17,480
e-Learning環境等の整備	32,650
スーパーSINETノード校環境の整備	3,410
個人情報保護対策用大型シュレッダーの導入	2,310
今出川校地既設建物の情報コンセント整備	3,500
新島遺品庫公開システムサーバのリプレース	1,710
寒梅館司法研究科フロアの整備	7,820
明德館共同研究室などの改装・整備	15,050
徳照館書庫の整備	7,660
光塩館書庫書架の増設	1,410
工学部実験実習設備の改修	13,870
新町校地講師控室の改装	2,300

学生生活支援の充実	
京田辺祭の実施	10,000
熊本キャンプの実施	600
就職システムの機能強化	1,030
課外活動施設設備の整備	19,370

企画広報活動・管理運営	
新設学部・大学院等の広報	17,970
高校教員向け入試説明会	3,000
日経BPムック『変革する大学』の作成	9,000
中部地区広報の充実	9,000
ビジネス誌による広報企画	7,500
その他広報事業の充実 (大学案内ビデオ素材編集など)	8,500
人事・給与システムのリプレース	35,000

施設設備更新・省エネルギー化	
今出川校地施設設備の更新 (明德館地下食堂、寧静館トイレ、徳照館屋上防水等)	113,380
京田辺校地施設のライフサイクル修繕 (香柏館空調、知真館2号館電動ブラインド、頌真館エレベータなど)	79,270
今出川校地省エネルギー化事業 (ガススコージェネ設備、寒梅館デマンド監視装置)	14,570
京田辺校地省エネルギー化事業 (高効率照明器具の導入、工学部エリアガススコージェネ設備)	38,050

建設事業(本年度支払予定額)	
クラーク記念館の保存修理(今出川)	271,150
防災校地管理システムの更新(新町)	25,100
デイヴィス記念館湿潤対策空調工事(京田辺)	150,000
硬式野球場夜間照明の設置(京田辺)	100,000
サッカー場クラブハウスの建設(京田辺)	25,000
学研都市キャンパスの整備	1,183,570

2006年度収支予算書(表1)

2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年3月31日まで

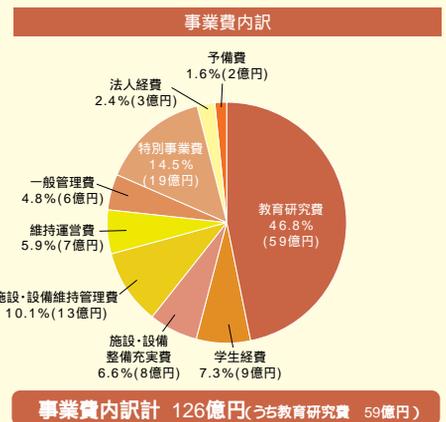
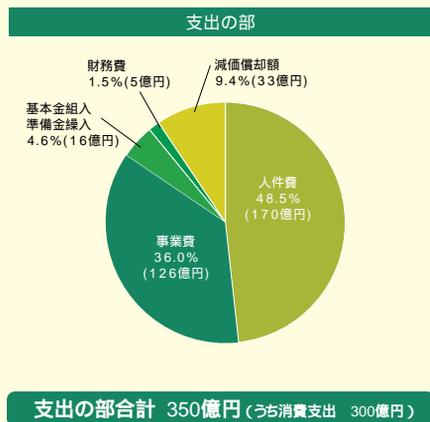
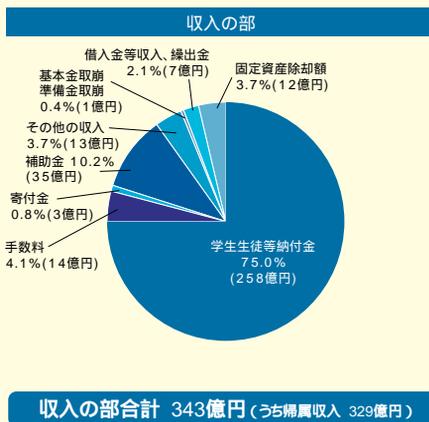
(単位:千円)

収入の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な増減理由
学生生徒等納付金	25,762,070	25,681,280	80,790	前年度開設学部・大学院の学年進行に伴う増収
手数料	1,394,100	1,324,100	70,000	入学検定料の収納見込増
寄付金	269,620	408,460	138,840	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等、収納が確実なもののみ計上
補助金	3,484,770	3,497,740	12,970	經常費補助金、クラーク記念館保存修理事業補助金等を計上
資産運用収入	311,090	330,530	19,440	運用利率低下
資産売却差額	0	0	0	
事業収入	171,570	453,980	282,410	前年度は知的クラスター創成事業あて他受託事業収入あり
雑収入	629,010	786,480	157,470	定年退職者の減少見込に基づく退職金財団交付金収入の減額
繰入金	731,310	730,080	1,230	
分担金	173,170	128,730	44,440	
帰属収入合計	(32,926,710)	(33,341,380)	(414,670)	
第2号基本金取崩額	30,000	1,200,000	1,170,000	前年度は臨光館の建設資金に充当、本年度は研究装置の取得資金に充当
当期固定資産除却額	1,258,060	667,900	590,160	96年度取得固定資産の一括除却
前年度基本金組入額繰延額	0	159,740	159,740	
借入金等収入	0	100,000	100,000	学校債募集の停止
当期末未払金	0	0	0	
基本金繰入年度収入額、未組入額計	(1,288,060)	(2,127,640)	(839,580)	
特定支出準備金取崩額	93,390	116,930	23,540	
収入の部合計	[34,308,160]	[35,585,950]	[1,277,790]	

支出の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な増減理由
人件費	16,964,600	16,622,260	342,340	教員増員、教員雇用保険加入、定期昇給の必要額
教育研究経費	11,561,040	11,405,030	156,010	主な新規事業参照
消耗品費他	8,338,280	8,373,950	35,670	
減価償却額	3,222,760	3,031,080	191,680	臨光館等の建物、備品等固定資産の増加
管理経費	1,115,460	1,171,410	55,950	主な新規事業参照
消耗品費他	1,043,560	1,098,140	54,580	
減価償却額	71,900	73,270	1,370	
借入金等利息	69,160	80,200	11,040	借入金残高の減少
資産処分差額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入額	52,150	54,020	1,870	
繰入金	60,000	460,000	400,000	本年度は大学から小学校への資金調達額
予備費	200,000	200,000	0	経理規程(経常勘定における帰属収入の7/1000以上を計上)に基づく
消費支出合計	(30,022,410)	(29,992,920)	(29,490)	
施設関係支出	1,778,290	4,299,190	2,520,900	主な新規事業参照
設備関係支出	1,202,110	2,035,250	833,140	主な新規事業参照
翌年度基本金組入額繰延額	0	0	0	
借入金等返済支出	354,380	353,480	900	
前期末未払金	0	68,620	68,620	
第2号基本金組入額	1,500,000	1,500,000	0	
第3号基本金組入額	0	8,400	8,400	
第4号基本金組入額	90,200	146,600	56,400	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金要組入額、当年度組入額計	(4,924,980)	(8,411,540)	(3,486,560)	
特定支出準備金繰入額	2,120	32,810	30,690	
支出の部合計	[34,949,510]	[38,437,270]	[3,487,760]	

収支差額の部			
科目	予算	前年度予算	増減
当年度消費収支差額	(641,350)	(2,851,320)	—
消費支出準備金繰入額	0	0	—
消費支出準備金取崩額	1,501,350	1,461,530	—
繰入取崩後消費収支差額	(860,000)	(1,389,790)	—
前年度繰越消費収支差額	[23,421,050]	[22,031,260]	—
翌年度繰越消費収支差額	[22,561,050]	[23,421,050]	—

収支構成図



事業別予算書(表2)

(単位:千円)

事業別予算総括表	
事業項目	予算
人件費	(16,964,600)
事業費	(12,562,240)
基本金・準備金	(1,592,320)
財務費	(535,690)
減価償却額	(3,294,660)
支出の部合計	[34,949,510]

事業項目	内訳
事業項目	予算
教育研究費	(5,878,520)
研究費	1,625,790
研究所経費	111,470
実験実習費	672,930
教育研究援助費	772,260
情報処理教育研究費	1,193,260
学術情報整備充実費	373,840
国際交流関係費	172,440
入学試験経費	504,780
教学事務運営費	451,750
学生経費	(912,660)
奨学援助費	444,070
学生生活助育費	379,130
学費	89,460
施設・設備整備充実費	(833,730)
施設・設備等整備充実費	833,730
施設・設備維持管理費	(1,273,130)
施設・設備等維持管理費	1,273,130
維持運営費	(740,800)
通信費・光熱水費	740,800
一般管理費	(607,400)
一般管理費	473,410
教職員福利厚生費	133,990
特別事業費(建設事業等)	(1,816,260)
法人経費	(299,740)
予備費	(200,000)
事業費小計	[12,562,240]

基本金・準備金内訳	
事業項目	予算
第2号基本金組入額	(1,500,000)
教学施設整備備蓄金	1,200,000
情報基盤整備備蓄金	300,000
第3号基本金組入額	(0)
第4号基本金組入額	(90,200)
翌年度基本金組入額繰延額	(0)
前期末未払金	(0)
特定支出準備金繰入額	(2,120)
基本金・準備金小計	[1,592,320]

財務費内訳	
事業項目	予算
借入金等返済支出	(354,380)
借入金等利息支出	(69,160)
資産処分差額	(0)
徴収不能引当金繰入額	(52,150)
繰入金	(60,000)
財務費小計	[535,690]